

# 新町のデータセンター 青梅市の全家庭の2倍の電力量に

地球の温暖化が、あらゆるところに顔を出しています。熊が人里に来る原因の一つは、山のドングリの豊作と凶作のサイクルが、温暖化によって以前よりも激しく、めまぐるしくなっていることだそうです。温暖化を止めるために温室効果ガスの大幅削減が必要ですが、邪魔をしているのは大企業の「もうけ優先」の投資であり、資本主義の害悪そのものです。

その表れの一つで、現在各地で問題になっているのが「データセンター」というコンピューターの集積ビルです。青梅市でも新町に2本のビルが作られようとしています。12月議会では、この2本のビルが使う電気の量は、青梅市の全家庭の2倍にもなり、市が環境基本計画等において、温室効果ガス削減のために節電の目標に掲げても、これでは目標は遠のくばかりであることを指摘しました。

現在は国などにデータセンターを対象とする規制がないため、外国資本が日本を「データセンター投資」の対象にしているとも言われています（新町のデータセンターはオーストラリアの会社のもののようなのです）。国、都、市で適切な規制をかける必要があります。



電気を使うということは熱が発生します。海外では冷却用に水が大量に使われることが問題となっています。水を大量消費しない方法もありますが、いずれにしても排熱は大きな課題になるはずです。

## 議会で使用した「試算」を紹介します

### 新町のデータセンターの年間電力使用量試算

$$110\text{mW} \times 24\text{時間} \times 365\text{日} \times \text{PUE} 1.15 \\ = 110\text{万}8140\text{mWh} = \underline{11\text{億}814\text{万kWh}}$$

### 市民一人あたりに換算すると

$$11\text{億}814\text{万kWh} \div 12\text{万}8731\text{人} (11/1\text{現在}) \\ = \underline{8608\text{kWh}}$$

### 電力使用量の現状と目標

- ◆2022年度  
市民一人あたり367kWh/月=年4404kWh
- ◆2034年度の目標  
市民一人あたり278kWh/月=年3336kWh

環境問題を指摘されることは事業者も警戒しており、「いかにエコなシステムか」がホームページなどで強調されています。その指標の一つに「PUE」という数値があり、当該事業者は「当社はすでに1.15を達成」と記載していました。そのため、議会ではその数値を元に電力使用量を試算しましたが、それでも膨大であることには変わりはありませんでした。

「なんでも相談」

090-8489-5260

inouetakashi99@gmail.com

「学校のトイレ新聞」も、  
ぜひお読みください



@inoue\_9

井上たかし  
公式 web



青梅市議会議員

井上たかし

日本共産党 青梅市議団